

いこま もっと知ろう、いこまのこれから。 市議会のうごき

No. 147

令和3年(2021年)
6月定例会
3月 **6月** 9月 12月



第5回観光フォトコンテスト 生駒市観光協会賞
「お彼岸万燈会」

4月臨時会、6月定例会 議会役員を決定

INDEX

議案審議	P.2-3
一般質問	P.4-7
議会のうごき	P.8
議決結果	P.9
正副議長就任あいさつ	P.10

HPでも詳細をご覧ください。
<https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/>

令和3年度一般会計補正予算の主な内容

項目	補正額
市立病院における病床の陰圧化整備工事費	2,960 万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業費	4 億 3,543 万円
飲食店への時短協力支援金	3 億 400 万円
子育て世帯に対する生活支援特別給付金	2 億 4,468 万円

新型コロナウイルス感染症対策を含む
補正予算案を可決

4月臨時会・6月定例会 議案審議

4月臨時会および6月定例会では、新型コロナウイルス感染症対策を中心に、4月臨時会では、歳入歳出ともに2959万9000円を、6月定例会では、歳入歳出ともに10億1748万4000円を追加する補正予算案が提案されました。

おもな内容は、4月臨時会では市立病院において新型コロナウイルス感染症が疑われる患者の受け入れ病床を陰圧化するための整備工事にかかる経費、6月定例会では新型コロナウイルスワクチンの集団接種および大規模接種を実施するための医師、看護師などへの謝礼、コールセンターの期間延長にもなう委託料、会場設営、運営にかかる経費などの接種体制整備のための経費、奈良県緊急対処措置に基づき午後8時までの営業時間短縮要請に協力いただいた飲食店への時短協力支援金を支給する経費、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で低所得の子育て世帯に対して生活支援特別給付金を支給する経費、休日の部活動の段階的な地域移行を实践検証する国のモデル事業を実施する経費などです。



集団接種会場の様子（北コミュニティセンター）

職員のサービスの宣誓書への押印
および対面での宣誓を不要とする
条例改正案を可決

この議案は、国における政令の改正およびデジタル時代に向けた規制、制度の見直しの動きをふまえ、職員のサービスの宣誓書への押印および対面での宣誓を不要とし、宣誓書の提出のみとするよう変更するものです。

委員会での審査にあたり委員から押印は不要とするものの、対面での署名および朗読による宣誓は現行どおり必要とする修正案が提出され、委員会では修正案を可決しました。

委員会での審査を経て、本会議での採決の結果、修正案を否決し、原案を可決しました。

原案賛成討論の論点

○十分な説明、研修を行ったうえで宣誓書への署名、提出を行っているとともに、発声が困難な方などの採用もあることから、朗読は不要である。

また、署名については行政事務のデジタル化に向けた取組もふまえ、要綱などで基準を定めればよい。

○任命権者の前で朗読させることは、任命権者に奉仕するという誤った認識を持たせる可能性があるとともに、宣誓の内容が理解できているのかとの不信感を突き付け、誇りや自尊心を傷つけることにつながる。

修正案賛成討論の論点

○宣誓は法令遵守や公平公正な職務の遂行を市民に誓うもので、政令の改正に準ずる必要はない。宣誓の意義を自ら考えず、面前で朗読、署名を行っていない条例違反の現状に合わせて、デジタル化の流れのついでに改正を行うことは言語道断である。

○さまざまな公文書管理や、ワクチン接種事故の報告の遅れなど、職務意識が欠落している事例が複数発生し、市全体として職務意識を向上させることが急務である。朗読は意識を変え、高めるための第一歩となる。



改修整備が予定される火葬場

市営火葬場の整備方針が示されました

市民文教委員会では、昭和47年の竣工後48年以上が経過し、施設の老朽化や機能面、煙突の存在などの景観配慮、今後見込まれる火葬需要への対応など様々な課題を抱えている市営火葬場について、課題解決に向けた改修整備の方針の説明を受け、質疑を行いました。説明では、現在使用している炉を廃止し、現敷地内で3基の炉を新設するとともに、集じん設備を設置し、煙突を見えないよう配置することで環境・景観に配慮することなどが示されました。また、今後、地元説明などを経て、令和6年度に工事完了を目指すスケジュールが併せて示されました。

議員定数等に関する特別委員会で調査が進められています

議員定数の在り方と常任委員会の編成を協議する「議員定数等に関する特別委員会」を開催し、各委員が議員定数および常任委員会の編成に対する考え方について説明を行いました。

その中で、予算委員会を除く4常任委員会（企画総務委員会、市民文教委員会、厚生消防委員会、都市建設委員会）の編成について、1常任委員会6名の現在の体制では事故や病気などで委員が欠席した際に活発な議論が行えないこと、議員間討議の際、多様な意見が出にくいことなどの課題が挙げられ、委員会の調査・監視機能を向上させるために1委員会の人数を増やし、4常任委員会を3常任委員会に再編成する提案がありました。

提案を受け、9月定例会で設置する予定の決算審査特別委員会では、例年4分科会で実施している委員会の審査方法を変更し、以下に記載する3分科会において審査を試行することを議会運営委員会に申し入れる決定を行いました。今後、試行をふまえ、議員定数の在り方と常任委員会の編成について協議を行います。

決算審査特別委員会での3分科会編成案

- 総務市民分科会
市長公室、総務部、市民部、消防本部など
- 厚生文教分科会
福祉健康部、教育委員会
- 経済建設分科会
地域活力創生部、農業委員会、建設部、都市整備部、上下水道部

常任委員会のテーマを定めた調査の実施を決定

年間を通じて、所管の事務を調査し、政策立案および提言につなげる「テーマを定めた調査」を実施することを決定しました。

○市民文教委員会
「不登校の児童生徒の居場所・学習支援について」

○厚生消防委員会
「市と生駒市社会福祉協議会とのあるべき関係について」

○都市建設委員会
「公共下水道管渠整備事業について」

表彰状と感謝状が贈られました

全国市議会議長会から、正副議長を12年務められた功績と、昨年度に国会対策委員会委員として会務運営に努められた功績により、中谷尚敬議長に対して表彰状と感謝状が贈られるとともに、市議会議員として10年間、市政の発展に尽くされた功績により、竹内ひろみ議員、吉村善明議員および山田耕三議員に対しても同会から表彰状が贈られ、本会議において、表彰状の伝達および報告が行われました。



山田耕三議員



吉村善明議員



竹内ひろみ議員



中谷尚敬議長

＼ここが知りたい！／

本会議の一般質問

6月
2日～4日
定例会

質問者数 **12** 人

掲載以外の一般質問もありますので、
ホームページや後日発行の会議録をご覧ください。

QRコードを読み取っていただくと、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

問 ヤングケアラーに対する支援について

答 ヤングケアラー（大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護などを行う18歳未満の子ども）に関し、国が調査を行い、支援が必要との意識も広がっている中、課題と認識しているか。

答 ヤングケアラーに対する支援については、市全体で連携・協力して対応すべき課題と認識している。国の施策と併せ、本市としてもヤングケアラーの認知度の向上を図るとともに、関係機関との連携を図りながら支援につなげていきたい。

問 ヤングケアラーの早期発見・把握と認知度向上のための取組は。

答 要保護児童対策協議会で、ヤングケアラーの概念の周知を図り、関係者の各機関の代表者会議で研修を行うことで、早期発見・把握につなげ、国から示されるパンフレットを活用し、認知度向上に努めたい。

問 支援策推進のため「重層型支援体制整備事業」の早期実施に向けた見直しは。

答 同事業において、ヤングケアラーは重要な課題と認識している。各部横断的に連携し対応しているが、今後、速やかに、より市民のためになるような体制づくりを進めたい。

ヤングケアラーに対する支援について

成田智樹議員（生駒市議会（公明党））

成田智樹
議員



災害避難対策について

山田耕三議員（国民民主党）

問 今年5月の災害対策基本法一部改正による災害避難情報の変更点は。

答 警戒レベル4について、これまでの避難勧告・避難指示が一本化されたため、避難指示の段階で、より強く避難を促していく。

問 災害時要援護者避難支援プランの要援護者リスト対象要件に該当しない障がいのある人などの避難はどうなるのか。

答 対象要件に該当しないが、支援がなければ避難が困難な場合には、市の担当課に申し出ていただくことにより、要援護者リストに登録が可能な場合もある。

問 障がいのある市民への災害情報や避難情報の提供方法は。

答 聴覚に障がいのある方へは、市のホームページ・ツイッター・エリメールや登録制メールによる情報提供のほか、昨年6月から登録制でファクスによる情報提供も開始している。

また、視覚に障がいのある方へは、支援担当者による情報提供と避難支援を同時に行っている。

他の項目

● コロナ禍の生駒市立小・中学校における児童生徒の育成について

中央教育審議会の答申を踏まえた生駒市の学校教育方針について

竹内ひろみ議員（日本共産党）

問 「令和の日本型学校教育」の構築を目指すにあたり、本市はどのように取り組むのか。

答 市教育大綱に基づき取組を進めていくことはもちろんだが、G I G Aスクール構想の推進、地域との連携、子どもたちの居場所づくりの3点を重点目標とし、子どもたちが安心して自分らしく学べる環境を作っていきたい。

問 答申で示された令和の日本型教育では、「協働的な学び」と「個別最適な学び」の実現が柱となり、双方の学びは一体で取り組むことが重要と言われているが、市の見解は。

答 双方の学びは一体のものとしてとらえ、その実現に向けてはICTや地域連携なども活用し、様々なつながりを通して子どもたちを育てていくことが有効であると考えている。

問 答申では、コロナ禍で休校が続くなか、学校の福祉的役割が日本型教育の強みであることが再認識されたとしているが、市の見解は。

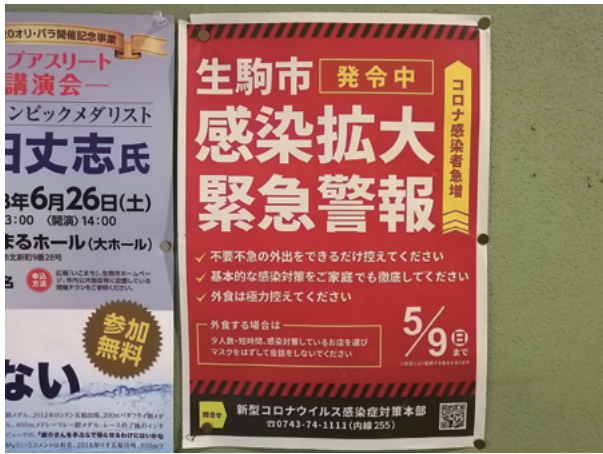
答 学校は学習機会と学力を保障する役割だけではなく、子どもたちに寄り添うことで、身体的・精神的な支えになることを、コロナ禍で実感している。

山田耕三
議員



竹内ひろみ
議員





市内に掲示されていた感染拡大緊急警報の啓発ポスター

コロナ禍での市の対応について
改正大祐議員（大樹）

問 感染拡大緊急警報を発令した際、ホームページで関連情報をまとめて掲載し、検索しやすくするべきだったのではないかと。

答 掲載当初は関連ページへのリンクがない状態であったが、後日に対応し、解消した。今後市民が必要とする情報にたどり着きやすく、見やすいホームページの作成に努めていきたいと考えている。

問 「外食は極力控えてください」という文面の啓発ポスターは、飲食店への配慮が欠けているのではないかと。

答 飲食店が大変な思いをされていることは十分に理解しているが、市内の感染者数が国の定める緊急事態宣言相当の基準を大きく上回る非常に厳しい状況であったことから、国の方針に沿って、強いメッセージを出さざるを得なかった。

また、今後感染状況が落ち着くならば、「さきめしいこま」などの飲食店への支援策を実施していきたいと考えている。

問 市の姿勢を示すため、市長自ら県に要望書を持参するべきではないかと。

答 別の機会に私が自ら県を訪ね、副知事や危機管理監に直接要望している。

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動に関わる学校施設の利活用について
中嶋宏明議員（緑生）

問 地域で活動している人に対し、地域学校協働本部に新たに参加してもらうため、どのような取組をしているのか。

答 地域学校協働本部から、各団体や自治会を通じて呼びかけるとともに、学校からも、学校だよりを通じてボランティアをお願いしている。

問 スクールサポートスタッフの報酬は、3分の2が国・県からの補助金となっているが、補助金がなくなっても、事業を継続するのか。

答 スクールサポートスタッフは、コミュニティ・スクールで日程調整や準備など学校と地域をつなぐ事務を行っているが、教員の働き方改革を目的として設置されていることから、教員の人事異動や地域の役員の交代が想定されるため、できる限り予算要求していきたい。

問 地域学校協働活動の拠点として学校施設は不可欠であるが、どのように利活用しているのか。

答 地域の会議、防災訓練、地域イベントなどが行われ、長期休業期間中は図書室も開放しているほか、教職員が不在の休日に、外部から入室可能な多目的室を備える学校もある。

コロナワクチン接種事故にかかる対応について
中浦新悟議員（大樹）

問 ワクチン接種に関し、事故が発生した場合の責任の所在はどうなっているのか。

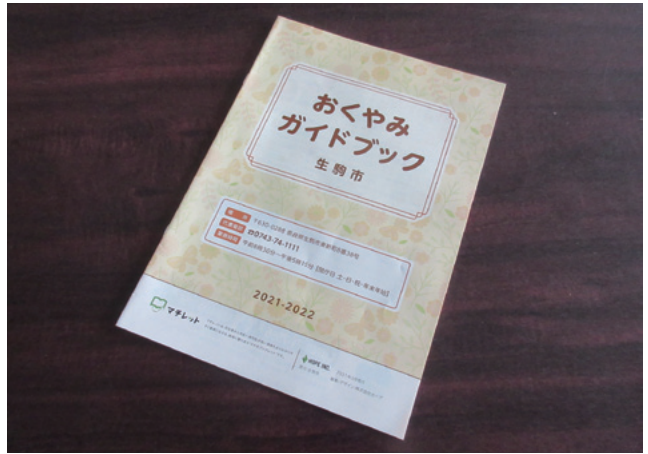
答 医療機関での新型コロナウイルスワクチン接種は、全国的に全国知事会と日本医師会との集合契約に基づき、市が実施主体として行われている。副反応などワクチンによる健康被害が生じた場合は、予防接種法に基づき、市は健康被害の救済措置や損害賠償を行うが、接種業務運営上の原因により問題が生じた場合は、市と医療機関が協議を行う。

問 4月末に発生したワクチン接種事故に際し、市立病院から市へ報告がなされるまで2日、さらに市職員から市長への報告がなされるまで10日かかっている。市の見解と今後の対応はどうか。

答 問題が生じた日に、市立病院から市に報告され、その時点で市長にも報告されるべきであった。情報管理体制が組織として徹底されていないことは市長の責任であり、市民のみならずお詫び申し上げたい。

今後、事故が生じた場合には医療機関から市に直ちに連絡いただくことも含め、医療機関への周知に関し、必要な対応を検討していく。





市民課で配布しているおくやみガイドブック

市民の死亡にともなう行政手続の対応について

山下一哉議員(生駒市議会公明党)

問 死亡にともなう遺族の手続きの流れと、「おくやみガイドブック」の活用状況はどうか。

答 死亡届の提出後、火葬許可証を発行するとともに、おくやみガイドブックを渡し、後日、遺族が行政上必要な手続きを関係各課で行う際の参考として活用いただいている。

問 遺族の手続きにかかる負担を軽くし、窓口業務の時間削減にもつなげる「ご遺族支援(おくやみ)コーナー」のようなものを本市でも実施すべきと考えるが、市の見解は。

答 遺族と行政双方の負担軽減が考えられるが、設置場所や人員、費用対効果など全庁的な課題があり、速やかな設置は難しいと考えている。

問 マイナンバーカードの活用により、手続きの簡素化が進むことを期待している。今後の見通しと本市で進めていきたいと考えていることは。

答 令和4年度末までに手続きのオンライン化の推進を国で定めており、本市でも国の財政的・技術的支援を活用して遅滞なく対応を進めたい。

他の項目

●ルールを守ったごみの分け方・出し方について



山下一哉議員▼

一般廃棄物および資源ごみの収集・処理の在り方について

恵比須幹夫議員(生駒市議会公明党)

問 電子レンジや炊飯器など、回収ボックスに入らない大きさの使用済小型リサイクル法の制度対象品目についても、無料で回収してはどうか。

答 有価な希少金属が含まれていることから、全ての制度対象品目を無料で回収できないか検討していきたい。

問 資源物等収集運搬業務の次期契約にあたっては、小さな金属類の定期収集の実施について検討できないか。

答 家庭の燃えないごみを自治会単位で収集することを検討するとともに、来年度に予定している資源物等収集運搬業務の次期契約では、費用対効果をふまえ、小さな金属類の定期収集の実施についても検討し、市民の利便性の向上を図りたいと考えている。

問 燃えるごみに混入しているプラスチック類については、法制度の動向を見据え、あらかじめ組成調査を実施しておくべきと考えるがどうか。

答 これまで実施していた燃えるごみの組成調査では、プラスチック類を区分していなかったが、今後はプラスチック類を区分し、組成調査を実施していきたい。



恵比須幹夫議員▼

発達障がい児や発達に不安のある子どもへの支援について

伊木まり子議員(無党派)

問 第6期障がい者福祉計画に関する発達に不安のある子どもの保護者アンケートにおいて、回答した就学児の保護者の内、6割以上が学校に要望していることは何か。

答 「成長や発達の気になる部分への適切な対応」、「担任が変わった際のスムーズな引き継ぎ」、「成長や発達の気になる部分への理解」となっている。

問 アンケートでは他にも学校への要望が多いことから、教育委員会のある市役所内に、障がい福祉課、教育指導課、健康課が連携し、就学後の児童・生徒やその保護者向け相談窓口を設置してはどうか。

答 担当課や連携の具体案はないものの、複雑な相談に応じられるよう、重層的な支援体制を整備しなければならぬと考えている。

問 個別の学習指導など、一人ひとりの障がいに応じた教育的支援の強化が必要と考えるがどうか。

答 放課後等デイサービスの詳細な情報提供に努めているが、詳細な情報を紹介することで、子どもの個性に合った支援の強化につながると考えている。



伊木まり子議員▼



多様性を認め合い、個人が尊重される社会へ

性に関する教育と支援について

梶井憲子議員（緑生）

問 LGBTなどの性的少数者への理解を促すための学校での取組は。

答 様々な教科で横断的に性について学習するとともに、出前授業や特別活動でも学習の機会を設けている。

また、男女混合名簿や中学校では、制服の選択など、児童・生徒の意向に沿った対応を行っている。

問 性教育の指導内容の充実、学校教育だけに頼らない家庭との連携について、今後の学校での取組は。

答 性教育の指導内容の充実を図るため、県の保健に関する研修を養護教諭などが受講し、受講者が各校の講師となり授業を行っていく。

家庭との連携についてあらゆる情報の提供が必要と考えており、学級懇談会で情報発信について取上げ、周知方法を工夫していきたい。

問 性暴力や性犯罪から身を守るための教育は幼少期から必要と考えるが、今後どのように進めていくのか。

答 小学校では、人を傷つけることや傷つけられることから身を守ることにについて考える機会を設けるとともに、中学校では、命の尊さを知る教育やデートDVに関する認識について出前授業を活用することで、性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう教育、啓発を行っている。

梶井憲子議員



権利擁護の取組の強化で高齢者などの尊厳ある生活の保障を

塩見牧子議員（無会派）

問 高齢化が進展し、成年後見制度の利用増が見込まれるが、生駒市権利擁護支援センターの成年後見制度促進の地域連携ネットワークの中枢機関としての取組状況はどうか。

答 同センターの中枢機能には、広報機能・相談機能・成年後見制度利用促進機能・後見支援機能・不正防止効果の五つの役割が定義付けされており、市民向けセミナーの開催や制度利用の促進のための支援などに沿った取組を実施している。

問 成年後見人の受け皿不足に備え、市長申立て以外の案件にも報酬を助成できるよう要綱の改正を行うべきではないか。

答 成年後見人の選任は、家庭裁判所が決定するとともに、報酬に関しても成年被後見人の財産、収入などに応じた額を家庭裁判所が決定している。現在、無報酬が見込まれる案件の引受け手が減少している現状をふまえ、報酬の助成が本来に必要な方に助成できるよう要綱の改正について検討している。

他の項目

● いこま市民パワー(株)におけるみな電力(株)の正統性

塩見牧子議員①



塩見牧子議員②



幼稚園の再編（統廃合・こども園化）について

浜田佳資議員（日本共産党）

問 現在、4幼稚園の再編案が教育委員会から示され、各地域協議会において議論されている。統合・こども園化の結果、施設の内容や園児数がどうなるか、具体的説明をすべきと考えるが市の見解は。

答 想定できる限りの資料は示したが、詳細は地域協議会から意見書を頂き、市と教育委員会での決定をふまえ、準備懇談会で検討したい。

問 地域協議会での資料に「適正な保育環境が確保される園児数が見込まれる時点での統合・こども園化を行う」と記載があるが、内容および統廃合の決定時期への影響は。

答 二つの幼稚園の園児を受け入れ、さらに、保育を必要とする子どもを受け入れるには、現施設で受入れ可能な園児数になるまでは、統合・こども園化が難しいのではないかと、一つの考え方を示したものである。

問 子育て支援の予算上での優先順位はどうか。

答 今後のまちづくりを検討していく中で、子育て、教育に予算や人員を確保し、様々な施策を行っていくことが、本市の特性をふまえて、また、次の50年で未来のまちづくりをしていく中で、重要だと考えている。

浜田佳資議員



議会のうごき

6月					5月							
22日	21日	17日	15日	14日	11日	10日	4日	3日	2日	28日	24日	18日
都市建設委員会	広報広聴委員会 予算委員会	市民文教委員会 6月定例会本会議 全員協議会	議員定数等に関する特別委員会 議会運営委員会 議案説明会	議員定数等に関する特別委員会 議会運営委員会 議案説明会	議員定数等に関する特別委員会 議会運営委員会 議案説明会	議員定数等に関する特別委員会 議会運営委員会 議案説明会	議員定数等に関する特別委員会 議会運営委員会 議案説明会	議員定数等に関する特別委員会 議会運営委員会 議案説明会	議員定数等に関する特別委員会 議会運営委員会 議案説明会	議員定数等に関する特別委員会 議会運営委員会 議案説明会	議員定数等に関する特別委員会 議会運営委員会 議案説明会	厚生消防委員会 議案説明会

7月
12日
災害対策委員会
広報広聴委員会

絵画を展示しています

生駒市議会では、開かれた議会の取組の一環として、市役所5階のロビーをギャラリーとして開放しています。

市洋画協会および市日本画協会にご協力をいただき、毎年2月頃に絵画の入れ替えを実施し、市洋画協会9作品、市日本画協会9作品を展示しております。

みなさまからは、気軽に芸術作品に触れることができ、心が和むなど大変ご好評をいただいております。みなさま、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



9月定例会の会議の予定

8月24日(火)13時	議案説明会
30日(月)10時	議会運営委員会
13時	全員協議会
9月1日(水)13時	議案説明会
2日(木)10時	本会議
3日(金)10時	本会議
6日(月)10時	本会議
7日(火)10時	本会議
9日(木)10時	都市建設委員会 予算委員会
10日(金)10時	厚生消防委員会 予算委員会
13日(月)10時	市民文教委員会 予算委員会
14日(火)10時	企画総務委員会 予算委員会
16日(木)10時	予算委員会
17日(金)10時	決算審査特別委員会
21日(火)10時	決算審査特別委員会
22日(水)10時	決算審査特別委員会
24日(金)10時	決算審査特別委員会
29日(水)10時	本会議

予定は変更する場合がありますので、市議会公式ホームページをご覧ください。ただ、お電話でお確かめください。

会議の予定▼



議会の傍聴における新型コロナウイルス感染対策について

市議会の活動状況を知るために、本会議および常任委員会などを傍聴することができ、今般の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本会議を除く各会議については直接傍聴を中止し、別室における中継視聴をお願いしております。

また、傍聴者にマスクの着用、手指の消毒、検温をお願いしておりますので、ご協力をお願いいたします。

傍聴を希望される方は、市役所5階の受付で傍聴受付票に住所、氏名を記入していただくことで傍聴することができ、議場での傍聴者および別室での中継視聴者の定員を制限させていただく場合がありますので、ご了承願います。

なお、市議会ではインターネット中継を実施しています。市議会のホームページから、ライブ中継や過去の議会の録画映像をご覧いただくことができますので、是非そちらもご利用ください。

ライブ中継▼



過去の録画配信▼



令和3年4月臨時会・6月定例会の議決結果

賛否が分かれた議案名	議決結果	共産党	大樹	公明党	凛翔絆	国	立	市	緑生	無	無	無	無	無	無											
		浜田 佳資	竹内 ひろみ	中浦 新悟	松本 守夫	改正 大祐	惠比 須幹夫	成田 智樹	山下 一哉	白本 和久	中谷 尚敬	福中 眞美	吉村 善明	山田 耕三	上村 京子	吉波 伸治	梶井 憲子	中尾 節子	中嶋 宏明	伊木 まり子	塩見 牧子	沢田 かおる	片山 誠也	神山 聡	加藤 裕美	
職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について(原案)	原案可決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について(委員会修正案)	否決	△	△	△	△	△	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

◎議長(中谷尚敬)は、議決に加わらないため、「-」と表示しています。

◎会派名: 共産党(日本共産党)、公明党(生駒市議会公明党)、国(国民民主党)、立(立憲民主党)、市(市民ネット)、無(無会派)

○=原案賛成 ●=原案反対
△=修正案賛成 ▲=修正案反対

全会一致で原案可決・承認・同意・了承とした議案

- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・令和2年度生駒市一般会計繰越明許費繰越計算書
- ・令和2年度生駒市水道事業会計予算繰越計算書
- ・令和2年度生駒市水道事業会計継続費繰越計算書
- ・令和2年度生駒市下水道事業会計予算繰越計算書
- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて(生駒市税条例等の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて(生駒市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて(令和3年度生駒市一般会計補正予算(第2回))
- ・令和3年度生駒市一般会計補正予算(第3回)
- ・令和3年度生駒市病院事業会計補正予算(第1回)
- ・生駒市監査委員の選任について
- ・令和3年度生駒市一般会計補正予算(第4回)
- ・固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市病院事業推進委員会委員の任命について
- ・令和3年度生駒市一般会計補正予算(第5回)
- ・財産の取得について(消防団の消防ポンプ車)
- ・令和3年度生駒市一般会計補正予算(第6回)
- ・生駒市立学校給食センター改修整備工事請負契約の締結について
- ・財産の取得について(生駒市立学校給食センター改修整備工事に伴う厨房設備)

就任あいさつ



吉村善明 副議長 中谷尚敬 議長

議長、副議長の就任にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。新型コロナウイルス感染症により、市民生活および地域経済に重大な影響が生じてから一年以上が経過する中、早期の感染抑制に向け、ワクチン接種が進められております。市政の一翼を担う市議会としても、的確な対応がなされるよう、迅速かつ適正な議会運営に取り組んでまいります。

本市は本年11月に、市制施行50周年を迎えます。これまでの市の発展に思いを新たにするとともに、変化し続ける時代の課題に対し、今後も不断の議論を積み重ね、市民のみなさまの信頼と負託に応える所存でありますので、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

4月臨時会
議会役員を改選

4月臨時会は、4月21日に開会し、議長および副議長の選挙をはじめ、議会選出監査委員や議会運営委員会委員の選任など、議会役員を決定しました。

議長に中谷尚敬議員
副議長に吉村善明議員

21日の本会議では、議長選挙を行い、投票の結果、中谷尚敬議員が第50代議長に当選しました。

続いて、副議長選挙を行い、投票の結果、吉村善明議員が第50代副議長に当選しました。

監査委員に白本和久議員

続いて、議会選出の監査委員に白本和久議員を選任することに異議なく同意しました。

また、常任委員会（企画総務、市民文教、厚生消防、都市建設、予算、議会運営委員会の委員を選任するとともに、各委員会の委員長および副委員長を決定しました。

新議会役員は、議会ホームページに掲載しております。

市議会の用語解説

付託（ふたく）

議会の議決を要する事件について詳しく検討を加えるために、本会議から所管の委員会に審査を委ねることを言います。

所管の委員会とは、常任委員会、議会運営委員会または、特別委員会を指し、付託されることによってはじめて委員会は具体的な事件の審査に入ることができます。

付託される事件は、議案・請願・陳情・意見書・決議などの議会の議決を要する事件のほか、議会運営に関する事項などで、必要と認められるものすべてとなります。

付託の省略が可能とされるものは、審議に緊急を要し、委員会の審査に委ねる時間的余裕のないものや、人事案件のように委員会での審査を行うのが適当でないものなどが挙げられ、会議規則第39条第3項の規定に基づき、討論を用いないで本会議に諮り省略することができます。

編集後記

生駒市議会では、議員定数等に関する特別委員会を設置し、議員定数と常任委員会の構成についての検討を進めているところであります。これまでも議員定数について議論されたことはありますが、常任委員会の構成も含めて検討されたことはなく、この点が新しい切り口となります。こうしたなかで、9月定例会で設置する予定の決算審査特別委員会では、従来の4分科会から3分科会での審査を試行的に行う方向で調整を進めております。決算審査特別委員会は、前年度の市の事務執行の状況を一通り確認する場であるため、常任委員会の再編成案について検証するには、とても良い機会となります。もちろん、本来の審査目的のためにしっかりと準備してまいります。